

**КЫРГЫЗСТАНДАГЫ СТУДЕНТТЕРДИН
ОКУУГА БОЛГОН ДИЛГИРЛИГИ:
БИШКЕК ГУМАНИТАРДЫК УНИВЕРСИТЕТИНИН
ЖАПОН ТИЛ БӨЛҮМҮНДӨ ОКУГАН
СТУДЕНТТЕР АРАСЫНДА
ЖҮРГҮЗҮЛГӨН СУРАМЖЫЛООНУН НЕГИЗИНДЕ**

キルギス共和国における大学生の進学意識

-ビシケク人文大学日本語専攻の大学生への質問紙調査から-

Аннотация: Аталган изилдөөдө Бишкек гуманитардык университетинин Чыгыш таануу жана Эл аралык мамилер факультетинин Жапон тил бөлүмүндө билим алып жаткан студенттер арасында Кыргызстандык студенттердин окууга болгон дилгирлигин баамдоо иретинде сурамжылоо жүргүзүлдү.

Сурамжылоонун жыйынтыгында төмөнкүдөй 5 көрсөткүч аныкталды.

1. Студенттер «Билим алууга изденүү» «Жумуш ордуна багыт алуу» деген ниетти билдиришти.
2. Көпчүлүк студенттер университеттин шилтеме сайтындагы маалыматтардын негизинде кайсы жерден билим алууну чечишпирин тастыктап өтүштү.
3. Студенттердин көбү мектепте окуп жүргөн кезде эле кайсы кесиптин ээси болорун анык билишкен.
4. Билим алууну улантууга үй-бүлө мүчөлөрү себеп болгон деп белгилеген студенттер абдан көп болду.
5. Окуу жайын аяктагандан кийин, аспирантурада билим алууну жана чет өлкөлөрдө иштегиси келген студенттердин саны арбын экендиги байкалды.

1.はじめに

キルギス共和国（以下キルギス）の大学進学率は、2014年の時点で45.91%となり、2012年調査（41.35%）と比べると上昇傾向にある。マーチン（1976）は、大学適齢人口在籍率に対する高等教育機関在籍者率を「エリート段階（15%まで）」「マス段階（50%まで）」「ユニバーサル段階（50%以上）」の3段階に分類している。キルギスの現段階は、「マス段階」であり、今後は「ユニバーサル段階」に向けて上昇していくことが予想される。学生を受け入れる高等教育機関としても、入学経路や進学理由、ニーズを把握し、多様化する学生に合わせた学びの機会の提供、学生生活を提供する必要があると思われる。

しかしながら、管見の限り、キルギスの国立大学においては、学生の入学経路や進学理由、進学に対する意識への研究は十分になされていない。そこで、本研究では、ビシケク人文大学東洋国際関係学部で日本語を専攻する学生1年生（2016年9月入学）を対象に、「大学進学理由」「ビシケク人文大学への進学理由」「どんな情報を参考にビシケク人文大学への入学を決めたか」「ビシケク人文大学への進学を決めた時期」「（回答者の）家族内の進学決定権」「大学卒業後の進路」の6つの項目からなる質問紙調査を実施し、分析を行った。

2. 調査の概要：データ収集と分析の枠組み

2.1. 調査の概要

調査は、2016年10月に、ビシケク人文大学東洋国際関係学部日本語日本文学科1年生30名を対象に実施し、20

(男性3名、女性17名：平均年齢17.7歳)から回答を得た。回答者の母語については、キルギス語4名、ロシア語4名、キルギス語・ロシア語の両言語が母語とする者11名、ウイグル語1名であった。回答者の出身地については、ビシケク特別市14名、タラス州2名、ナリン州1名、ジャララバード州1名、イシククル州2名であった。

調査用紙については、本校末尾の資料を参照されたい。質問項目については、次の表1の通りである。

表1 調査用紙の質問項目

| | |
|-----|----------------------------|
| 質問1 | 大学進学の原因 |
| 質問2 | ビシケク人文大学への進学理由 |
| 質問3 | どんな情報を参考にビシケク人文大学への進学を決めたか |
| 質問4 | ビシケク人文大学への進学を決意した時期 |
| 質問5 | (回答者の)家族内の進学決定権 |
| 質問6 | 大学卒業後の進路 |

2.2. データ収集と分析の枠組み

質問紙は、回答者の性別、年齢、母語、出身学校、所属学部・学科を記入するフェイスシートと、6つの質問項目からなる調査用紙の2部構成で作成した。質問1及び質問2は回答者に一番目から三番目までを10個の選択肢の中から選択してらい、理由も記入してもらうという方法をとった。そして、一番目の理由を3点、二番目の理由を2点、三番目の理由を1点とし、進学理由得点を計算した。質問3から質問6は選択肢の中から最も該当する選択肢を1つ選んでもらい、「その他」を選択した回答者にはその内容を具体的に記述してもらうことにした。

3. 調査結果

3.1. 大学進学理由

今回の調査では、ベネッセコーポレーション(2005)や福田・佐久間・センチャンダ(2013)を参考に、A~Jの10個の選択肢から、回答者に進学した1番の理由、2番の理由、3番の理由の3つを選んでもらうこととした。そして、福田・佐久間・センチャンダ(2013)と同様に、第一番目で選ばれた項目には3点、第二番目には2点、第三番目は1点とし、それらの合計点を大学進学得点とした。結果は、次の表2の通りであった。

表2 大学進学得点表

| 選択肢 | 得点 |
|--|----|
| A. Мне нужно получить ВУЗвскую специальность | 19 |
| B. Собираюсь продолжить исследовательскую работу по специальности | 9 |
| C. Для всестороннего развития в различных областях | 42 |
| D. Чтобы получить какую-то квалификацию | 4 |
| E. Обучение будет полезно для будущей работы | 27 |
| F. Хочу проводить больше своего времени на учебу, чем на работу | 2 |
| G. Пока боюсь, выходит в общество, где каждому надо быть более ответственным | 5 |
| H. По совету учителей и семьи | 0 |
| I. Потому что «все поступали в ВУЗы» | 3 |
| J. Другой | 5 |

調査の結果、最も高い得点だったのは「C. 幅広い教養を身に付けたいから」が42点、2番目に高い得点だったのは「E. 将来の仕事に役立つ仕事が勉強したいから」の27点、3番目に高かったのは「A. 大学卒業の学位（大卒）が欲しいから」で19点であった。

Cを選択した理由としては、「複数の言語を学習したかったから」「個人として自立し、社会の様々な分野で活動したいから」「様々な分野の知識を深め、たくさんのことを学び、専門性を高めたい」「言語を学び、日本の文化について学んで、自分の視野を広げる」が挙げられた。Eの理由としては、「日本で就職したいから」「日本語を勉強して好きな職業に就くため」「 unnecessary知識はない」「将来、通訳・翻訳者になりたいから」等があった。Aの選択理由としては、「大学を卒業しないといい仕事に就けない」「学位記が欲しい」等であった。

3.2. ビシケク人文大学への進学理由

質問2については、質問1と同様の手法をとり、用意したAからKの11個の選択肢の中から、上位3つを選択してもらうこととした。そして、それらの合計得点をビシケク人文大学への進学理由得点とした。選択肢と得点は次の表3の通りであった。

表3 ビシケク人文大学への進学理由

| 選択肢 | 得点 |
|--|----|
| A. Здесь предметы или специальность, которыми бы я хотел(а) заниматься | 54 |
| B. Есть преподаватели, у которых хотел(а) бы обучаться | 5 |
| C. Популярный университет | 3 |
| D. В связи с наличием клуба или кружка, куда хотелось бы войти | 2 |
| E. Не смог/не смогла поступить в желанный ВУЗ и пришлось прийти сюда | 7 |
| F. Лицеист БГУ | 0 |
| G. Для последующего трудоустройства необходима хорошая база подготовки | 14 |
| H. Возможность продолжить обучение в магистратуре | 7 |
| I. Низкая оплата за обучение по сравнению с другими ВУЗами | 2 |
| J. Смогу получить желанную квалификацию | 18 |
| K. Другой | 10 |

ビシケク人文大学への進学理由として、第一は「学びたい科目（学問分野）があったから（54点）」、第二に「欲しい免許や資格が取得できるから（18点）」、第三に「就職のための支援が充実しているから（14点）」が挙げられた。「K. その他」には、「ビシケク人文大学は人文学の分野で優れた研究機関の1つだから」「教員の質が高いから」等を記述していた。

3.3. どんな情報を参考にビシケク人文大学への進学を決めたか

質問3は、回答者にビシケク人文大学に進学するにあたって、どのような情報・媒体を参考にしたかを5つの選択肢から問う設問である。選択肢の詳細は次の表4の通りである。

表4 どんな情報を参考にビシケク人文大学への進学を決めたか

| 選択肢 | 人数 |
|---------------------------------------|----|
| 1. Информация из веб-страницы БГУ | 9 |
| 2. Информация из газет и журналов | 0 |
| 3. Рекомендации семьи и родственников | 7 |
| 4. Общественное мнение о престиже БГУ | 2 |
| 5. Другой | 2 |

表4より、「1. ビシケク人文大学のホームページ」を参考に進学を決めた回答者が多かった（9人）、また「3. 家族や親戚の勧め」を選択した回答者もあった（7名）。その他の理由としては、「直感を信じて自分の考えを貫いた」「シュコーラの先生に勧められたから」が挙げられる。

3.4. ビシケク人文大学への進学を決めた時期

質問4は、回答者にビシケク人文大学への進学を決定した時期について、選択肢から適切なものを選択し、問う設問であった。質問4の選択肢は下記の表5の通りである。

表5 ビシケク人文大学の進学決定時期

| 選択肢 | 人数 |
|--|----|
| 1. до 9 класса | 3 |
| 2. в 10 классе | 4 |
| 3. в 11 классе (с сентября по декабрь) | 1 |
| 4. в 11 классе (январь-февраль) | 1 |
| 5. в 11 классе (март-апрель) | 3 |
| 6. в 11 классе (май) | 2 |
| 7. после окончания школы | 4 |
| 8. другой | 2 |

表4より、今回の調査では、大きな差は出現しなかったが、最も多かった選択肢は「2. 10年生」と「7.シュコーラ卒業後」の4であった。「8. その他」は、「11年生の段階で進学を決意したが、どの時期だったかは忘れてしまった」が2であった。「8.その他」を含めて、11年生の時に進学を決定した学生が9名いることから、学年別にすると11年生時に進学を決定した学生が最も多いということが明らかになった。

3.5. 家族内の進学決定権

質問5は、回答者の大学進学に関して、進学決定権が家族の誰にあったかを6つの選択肢から問う設問である。6つの選択肢については、次の表6の通りである。

表6 家族内の大学進学決定権

| 選択肢 | 人数 |
|------------|----|
| 1. Дедушка | 0 |
| 2. Папа | 2 |
| 3. Бабушка | 0 |
| 4. Мама | 0 |
| 5. Сам(а) | 14 |
| 6. Другой | 3 |

表6より、多くの回答者が「5. 回答者自身」を選択した(14)。
 一方で「1. 祖父」「3. 祖母」「4. 母」を選択した回答者はいなかった。「6. その他」は、「家族全員とで話し合った」「両親と相談して決定した」「親戚一同で話し合い決定した」という回答者もいた。

3.6. 大学卒業後の進路

質問6は回答者に卒業後の進路を7つの選択肢の中から問う設問である。選択肢の内容と結果については次の表7の通りである。

表7 大学卒業後の進路

| 選択肢 | 人数 |
|--|----|
| 1. Хочу устроиться на работу в частное предприятие в Кыргызстане | 1 |
| 2. Хочу устроиться на работу в частное предприятие за границей | 7 |
| 3. Хочу стать госслужащим | 0 |
| 4. Хочу найти работу по специальности (преподавателем, бухгалтером и т.д.) | 1 |
| 5. Хочу открыть свое дело, кроме вышеперечисленных | 2 |
| 6. Хочу продолжить обучение в магистратуре (можно и за границей) | 8 |
| 7. Другой | 1 |

表7より、最も回答が多かった選択肢は「6. 大学院などに進学する(キルギス国外含む)」で8名、続いて「2. 外国の民間企業に就職する」の7名であった。「7. その他」については、「海外でビジネスを行いたい」という回答であった。

4. 考察

前節で得られた調査結果をもとにデータの考察を行う。

質問1については、回答者の大学(高等教育機関)への期待が表れている(高等教育機関像)と思われる。福田・佐久間・センチャンダ(2013)の4つのカテゴリー「知識探求型(選択肢2、3)」「目的曖昧型(選択肢1、6、7)」「職業志向型(選択肢4、5)」「他者追随型(選択肢8、9)」に基づき分類すると、次の表8のようになる。

表8 カテゴリー別大学進学理由得点

| カテゴリー | 得点 |
|-------|----|
| 知識探求型 | 51 |
| 目的曖昧型 | 26 |
| 職業志向型 | 46 |
| 他者追随型 | 3 |

表8より、今回の調査では「知識探求型」「職業志向型」が多いという傾向が明らかになり、大学進学に明確な目的を持って進路選択を行なっていることがうかがえる。

質問2については、福田・佐久間・センチャンダ(2013)と同様の手法をとり、4つのカテゴリー「目的追求型(選択肢1、4、10)」「教育環境重視型(選択肢2、7、8、9)」「妥協進学型(選択肢5)」「ブランド選択型(選択肢3)」に分類し、表9のような結果を得た。

表9 カテゴリー別ビシケク人文大学への進学理由得点

| カテゴリー | 得点 |
|---------|----|
| 目的追求型 | 74 |
| 教育環境重視型 | 28 |
| 妥協進学型 | 7 |
| ブランド選択型 | 3 |

表9より、「目的追求型」の回答者が最も多く(74点)、続いて「教育環境重視型」が多い(28点)ということが明らかになった。

質問3(表4)の結果を踏まえ、多くの回答者が大学ホームページを大学進学参考に使っていることから、今後は大学ホームページの充実が望まれる。現在のビシケク人文大学の公式ホームページ(<http://www.bhu.kg>)では、ロシア語のみの表記となっている上に、すべてのページが更新されておらず、情報が何も書かれていないページも存在する。今後は、大学進学希望者のニーズ等を把握し、必要な情報を適宜掲載していく必要がある。北村(2014)は、大学広報において外国人留学生の獲得のために最も重要となるコンテンツは「なぜ本学か?」を示すことであり、大学側が具体的なメッセージを伝えることが重要であると述べている。今回行った調査では、外国人留学生ではなく、キルギスに在住する正規の学生を対象としているが、「知識探求型」「目的追求型」の学生が多いということからも、「なぜビシケク人文大学か?」を明らかにし、ビシケク人文大学で学ぶ価値・目的を進学希望者に伝えることが必要となると思われる。

質問4のビシケク人文大学への進学決定時期については、明確な特徴は出現しなかった。しかしながら、シュコーラ11年生在学中までの進路決定は14名であることから、シュコーラでの大学広報事業は効果的であると思われる。出張授業やオープンキャンパスを行い、ビシケク人文大学の魅力を発信する等の工夫が

必要である。その実践例として、東洋国際関係学部日本語日本文学講座では、講座教員がシュコーラに赴き、シュコーラの生徒・教職員を対象に、日本語・日本文化出張授業や大学説明会を行っている。

質問5の家族内での進学決定権に関しては、「回答者自身」という回答が最も多かったことから、シュコーラの生徒に正しく理解してもらう大学広報が必要となると思われる。そのためには、大学が生徒に理解してもらいたいポイントを把握し、相手にわかりやすく伝えることが重要である。

質問6については、卒業後の進路として、多くの学生がキルギス国内外の大学院への進学や海外での就職を考えていることから、大学ホームページ等で学部の情報と合わせて、大学院の情報を紹介したり、卒業生の進路・主な就職先を公開したりすることが望まれる。

5. まとめと今後の課題

5.1. 本研究のまとめ

本研究では、ビシケク人文大学東洋国際関係学部日本語専攻の1年生に対し、「大学進学理由」「ビシケク人文大学への進学理由」「どんな情報を参考にビシケク人文大学への入学を決めたか」「ビシケク人文大学への進学を決めた時期」「(回答者の)家族内の進学決定権」「大学卒業後の進路」の6つの観点からなる質問紙調査を行った。分析の結果は、次の通りであった。

- 1) 学生は「知識探求型」「職業志向型」の傾向があった。
- 2) 多くの学生が「大学ホームページ」を参考に進学先を決定していた。
- 3) 多くの学生がシュコーラ11年生の時期にビシケク人文大学を進学先として選択していた。
- 4) 家庭内の進学決定権は「回答者自身」が最も多かった。
- 5) 卒業後の進路として、大学院進学と海外での就職を希望する学生が多い。

5.2. 今後の課題

今回実施した調査では、収集したデータが20名であったことから、引き続きより多くのデータを収集し、統計分析等を用いてその傾向を詳細に検討する必要がある。福田・佐久間・センチャンダ(2013)によると、学部・学科ごとに結果が異なることが示唆されていることから、他学部・他学科でも実施し、今回得られた知見が日本語専攻の学生の特徴かどうかを検証することが必要であろう。それらの知見から、学部・学科の特性に加え、学生のニーズに合ったカリキュラム・授業の開発や、シュコーラでの大学広報活動の見直し等を行い、学生の期待に応えられる大学づくりを目指すことが重要である。

参考文献

- 北村倫夫(2014)「外国人留学生のリクルーティング戦略-海外向け大学広報戦略の立て方と実践方法」『留学交流2014年6月号』39, pp.1-10, 独立行政法人日本学生支援機構
- 福田亘孝・佐久間邦友・センチャンダ(2013)「大学生の入学経路と進学意識についての一考察-質問紙調査をもとに-」『日本大学FD研究』1, pp.1-16, 日本大学
- ベネッセ教育総合研究所(2005)「第3章 大学生の進路選択過程」『平成17年度経済産業省

委託調査 進路選択に関する振り返り調査-大学生を対象として-』 pp.202-289, ベネッセコーポレーション

マーチン・トロウ (1976) 『高学歴社会の大学-エリートからマスへ』, 東京大学出版会

Globalnote (2014) 「キルギスの教育・統計データ

(http://www.globalnote.jp/post-2603.html?cat_no=122 : 2016年11月5日アクセス)

資料

**Анкета, выявляющая намерения продолжить обучение
в университете**

Пол: М Ж Возраст: _____ лет

Родной язык

* Укажите язык, который наиболее часто используете дома в общении с семьей

1. Кыргызский язык

2. Русский язык

3. Другой (_____)

Название школы, где учились:

(город/село _____)

Название Факультета, где учитесь:

Название направления по специальности:

Вопрос 1: Почему Вы решили поступить в университет? Выберите три подходящих варианта. В случае ответа «другой» напишите подробнее о причинах.

A. Мне нужно получить ВУЗскую специальность

B. Собираюсь продолжить исследовательскую работу по специальности

C. Для всестороннего развития в различных областях

D. Чтобы получить какую-то квалификацию

E. Обучение будет полезно для будущей работы

F. Хочу проводить больше своего времени на учебу, чем на работу

G. Пока боюсь, выходит в общество, где каждому надо быть болсе ответственным

H. По совету учителей и семьи

I. Потому что «все поступали в ВУЗы»

J. Другой (_____)

Укажите причины выбранных вариантов (в скобке укажите букву выбранного варианта):

Причина варианта №1 (_____):

Причина варианта №2 (_____):

Причина варианта №3 (_____):

Вопрос 2: Почему вы решили поступить в Бишкекский гуманитарный университет? Выберите наиболее 3 подходящих варианта, и напишите подробнее о причинах выбора.

A. Здесь предметы или специальность, которыми бы я хотел(а) заниматься

B. Есть преподаватели, у которых хотел(а) бы обучаться

C. Популярный университет

D. В связи с наличием клуба или кружка, куда хотелось бы войти

E. Не смог/не смогла поступить в желанный ВУЗ и пришлось прийти сюда

F. Лицеист БГУ

- G. Для последующего трудоустройства необходима хорошая база подготовки
- H. Возможность продолжить обучение в магистратуре
- I. Низкая оплата за обучение по сравнению с другими ВУЗами
- J. Смогу получить желанную квалификацию
- K. Другой ()

Укажите причины выбранных вариантов (в скобке укажите букву выбранного варианта):

Причина варианта №1 ():

Причина варианта №2 ():

Причина варианта №3 ():

Вопрос 3: Какой информацией вы руководствовались перед поступлением в БГУ? Обведите кружочком один подходящий вариант. В случае ответа «другой» напишите подробнее.

- 1. Информация из веб-страницы БГУ
- 2. Информация из газет и журналов
- 3. Рекомендации семьи и родственников
- 4. Общественное мнение о престиже БГУ
- 5. Другой ()

Вопрос 4: Когда вы решили поступать в БГУ? Обведите кружочком один подходящий вариант. В случае ответа «другой» напишите подробнее.

- 1. до 9 класса
- 2. в 10 классе
- 3. в 11 классе (с сентября по декабрь)
- 4. в 11 классе (январь-февраль)
- 5. в 11 классе (март-апрель)
- 6. в 11 классе (май)
- 7. после окончания школы
- 8. другой ()

Вопрос 5: Кто в семье решил, что после окончания школы вам надо продолжить обучение в университете? Обведите кружочком один подходящий вариант. В случае ответа «другой» напишите подробнее.

- 1. Дедушка
- 2. Папа
- 3. Бабушка
- 4. Мама
- 5. Сам(а)
- 6. Другой ()

Вопрос 6: Каким вы видите свой путь после окончания университета? Обведите кружочком один подходящий вариант. В случае ответа «другой» напишите подробнее.

- 1. Хочу устроиться на работу в частное предприятие в Кыргызстане
- 2. Хочу устроиться на работу в частное предприятие за границей
- 3. Хочу стать госслужащим
- 4. Хочу найти работу по специальности (преподавателем, бухгалтером и т.д.)
- 5. Хочу открыть свое дело, кроме вышеперечисленных
- 6. Хочу продолжить обучение в магистратуре (можно и за границей)
- 7. Другой ()

Спасибо за сотрудничество!